

素顔は
ストイックな
仕事師!?

100年前の
インフルエンサー?

FOUJITAの正体に迫る!

セルフプロデュース&
身体のみみず!

アーティスト(芸術家)か?
アルチザン(職人)か?

狂乱の
パリを
代表する
パリの
その
実態は...

パリ時代は夜な夜な
パーティーの中心で
乱痴気騒ぎ!
でも実はお酒が
飲めない体質だった!

トレードマークのおかっぱ頭は
節約生活のおかげ?

第一次世界大戦の
影響で日本からの
送金が止まって
床屋に行くお金も
なくなつて...

「体も
キヤニ
アイロン
自らの
進化」

作家は
芸術家である前に
腕の利く職人じゃ
ない!

刺繍や木工
彫金も
得意だった
そうですね

パーティーには一日の
仕事をすべて終えてから
参加していたし
遅くまで遊んだ次の日
翌朝9時には絵を1枚
仕上げていたよ!

自分で髪を
切るように
なったと

個人的な
スタイルは
意外な
きっかけ
から

セルフ
プロデュースが
どんどん
進化していく~

おかっぱ頭
&ねがえ

リング
ピアス

時計と
指輪の
タワー

平和の聖母礼拝堂
(フジタ礼拝堂)建設の
際は細部にいたるまで自ら
計画し壁画の制作に加え
スタンドグラス・金属装飾
彫刻のデザインも行った!

フジタにとって「猫」と
「女性」は同じ!?

女性にヒゲと
尻尾をつけられ
そのまま猫に
なるじゃないですか

かわいければ
大人しくしてあげ
そうでなければ
引っこたりする

裁縫の
腕もプロ並み!!

芸術家は
芸術的な服を
自作しないと
ね

生活に困っていた頃は
ロンドンの高級
百貨店で服の仕立て
仕事をしていた
そうですね!

自作の
自服

パリの人たちも
びっくりした
だろうね!

体力にも
自信アリ!!
意外な
特技

幼い頃から柔道を
習っていたフジタは
柔道茶帯!(後に二段)

予行練習の取材
撮影では得意技の
「蟹挟み」を
試みたんだけど...

パリで道場を開いて
いた柔道家の
石黒敬七さんと
オペラ座で
デモンストラ
ションを行った
こともあった

小柄なフジタは
外国の既製服だと
サイズが合わな
かったという
理由もあったかも

柔道で鍛えた
体力・気力が
パリでの生活を
支えた?



鷗田登美子

単身渡欧したフジタの
生活基盤が整ったところで
呼び寄せる約束だったが
第一次世界大戦勃発などの
影響で「再会は叶わず」

リュシ・パド

雪のように白い
肌だったことから
フジタは彼女を
「ユキ」と呼んだ

堀内君代

日本で出会った
最後の伴侶
戦時中の苦勞
日本画壇との絶縁
そしてフランス
への帰化と30年
以上寄り添った

フジタと共に生きて
きた
5人の
パリの
オーナー

フジタのパリに
おける
ネットワーク
作りに貢献

フェルナド・
パレエ

中南米旅行に
同行した後
フジタと共に
日本に滞在
脳血栓で急死

マドレヌ・
ルケ